

公共交通推進に関する アンケート調査の集計結果に ついて

このアンケートは、仙台市都市整備局公共交通推進課が、市政モニターのみなさまの協力のもとに実施し、190名の皆様から回答をいただきました。

ご協力いただいた市政モニターのみなさまに感謝申し上げます。

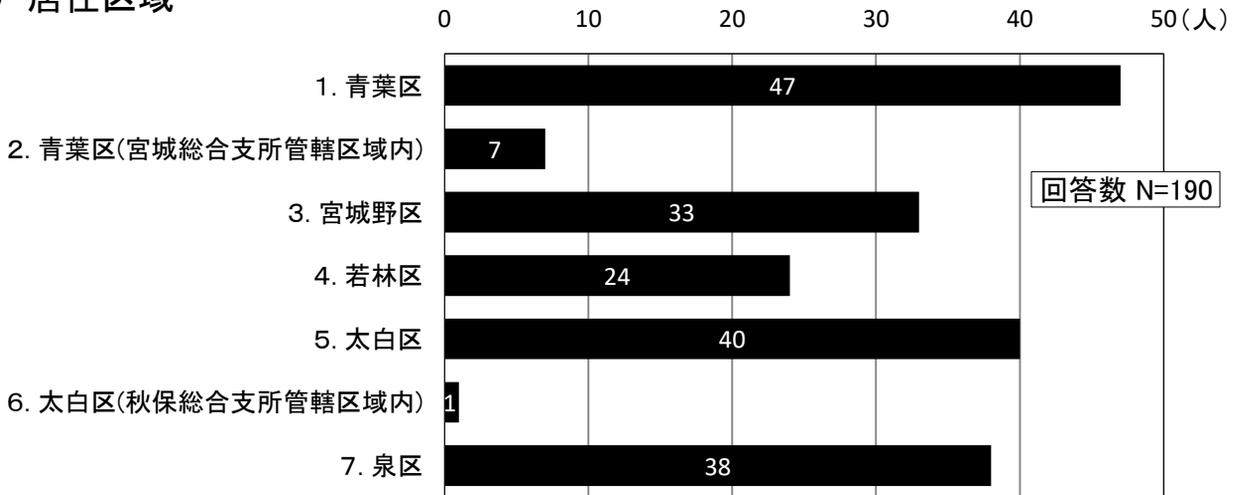
以下に、アンケートの結果をご報告します。

令和元年度

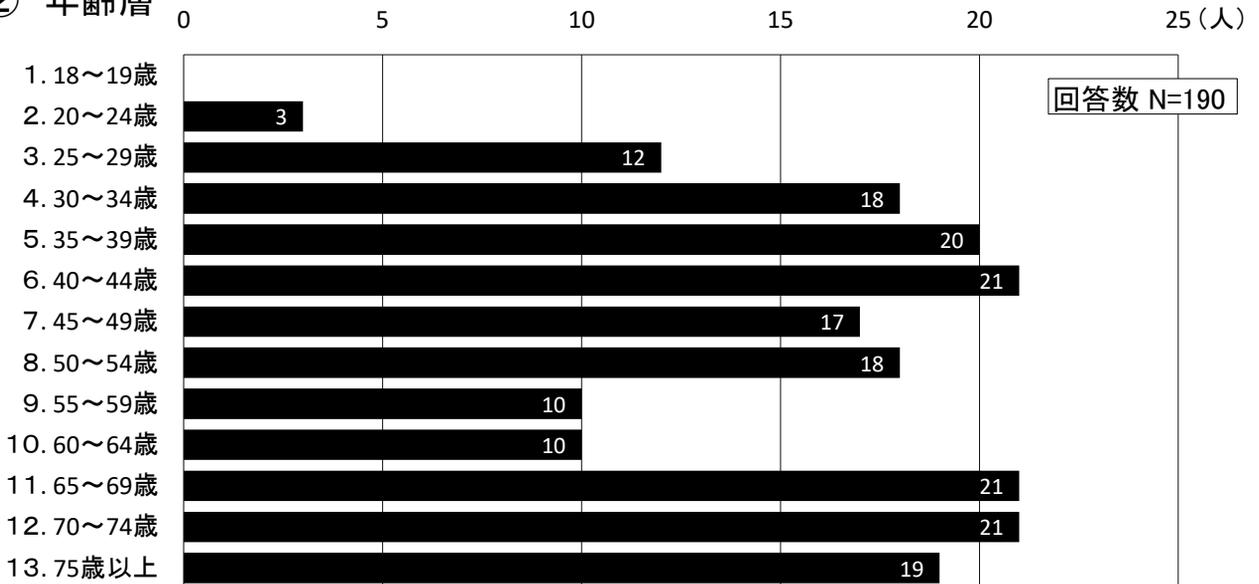
公共交通に関するアンケート集計

【回答者の属性等について】

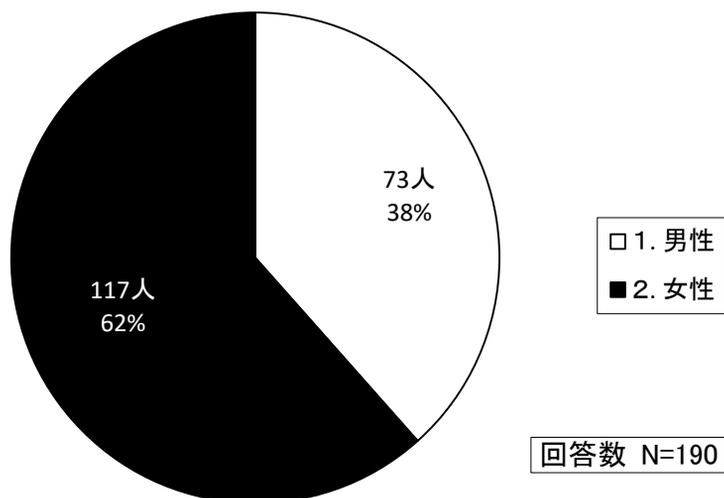
① 居住区域



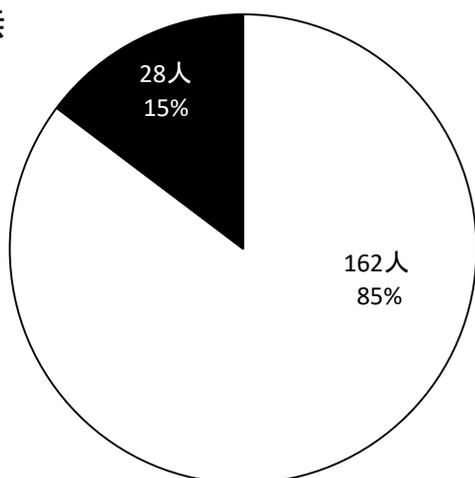
② 年齢層



③ 性別



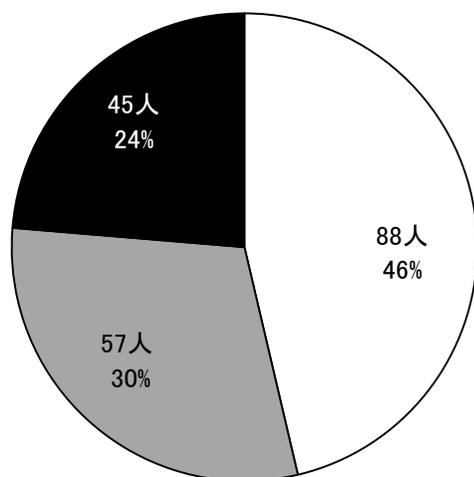
④ 免許の有無



- 1. はい
- 2. いいえ

回答数 N=190

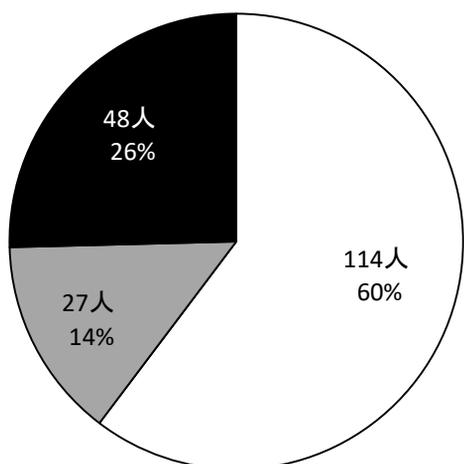
⑤ 自動車の所有状況



- 1. 所有している
- 2. 同居する家族が所有している
- 3. 同居する家族も含めて所有していない。

回答数 N=190

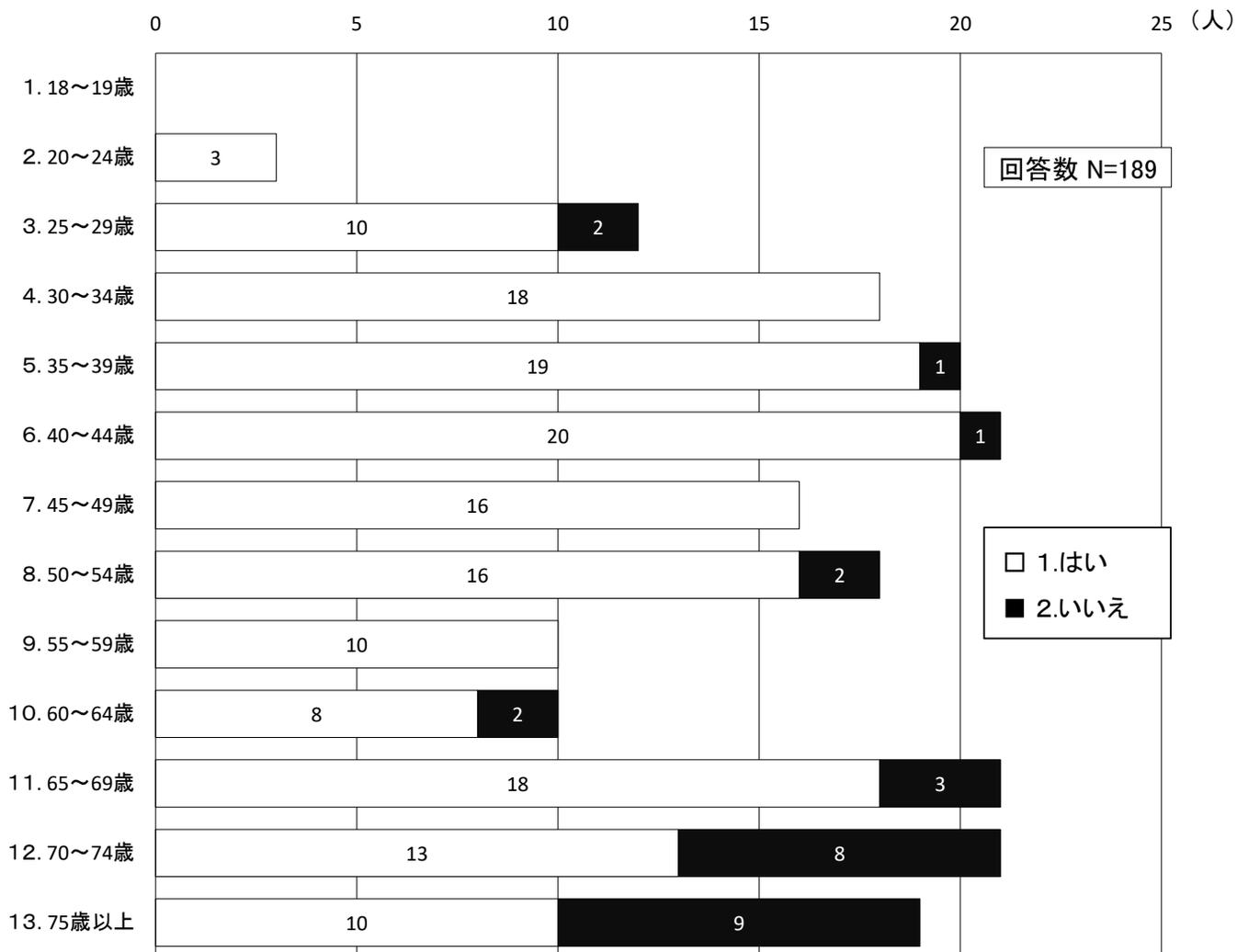
⑥ 車の利用状況



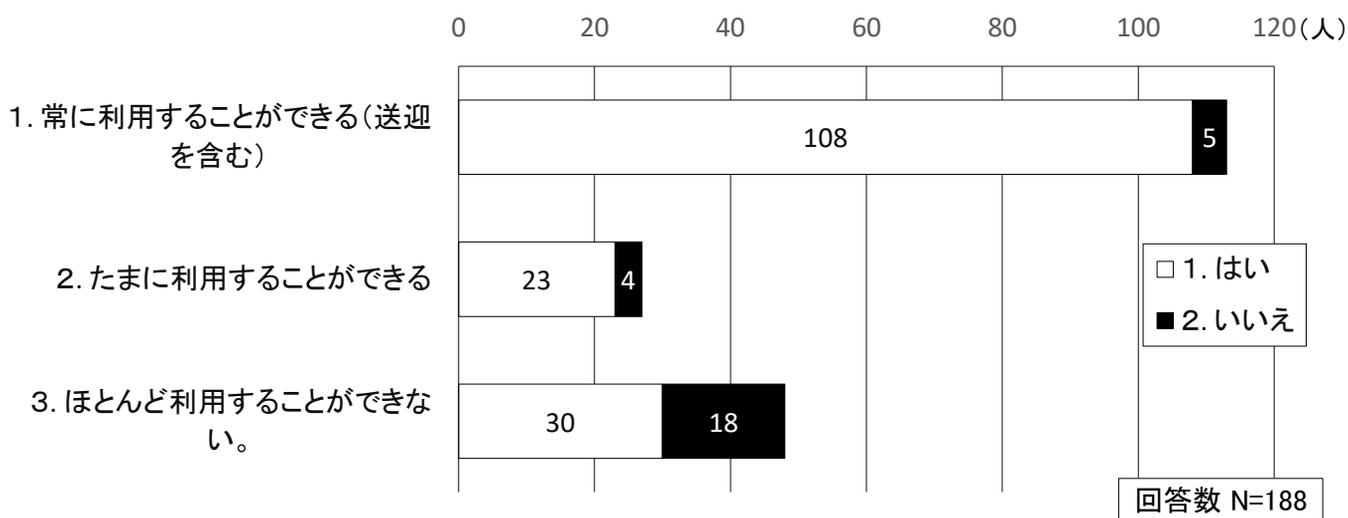
- 1. 常に利用することができる(送迎を含む)
- 2. たまに利用することができる
- 3. ほとんど利用することができない。

回答数 N=189

⑦ 年齢層別の免許の有無



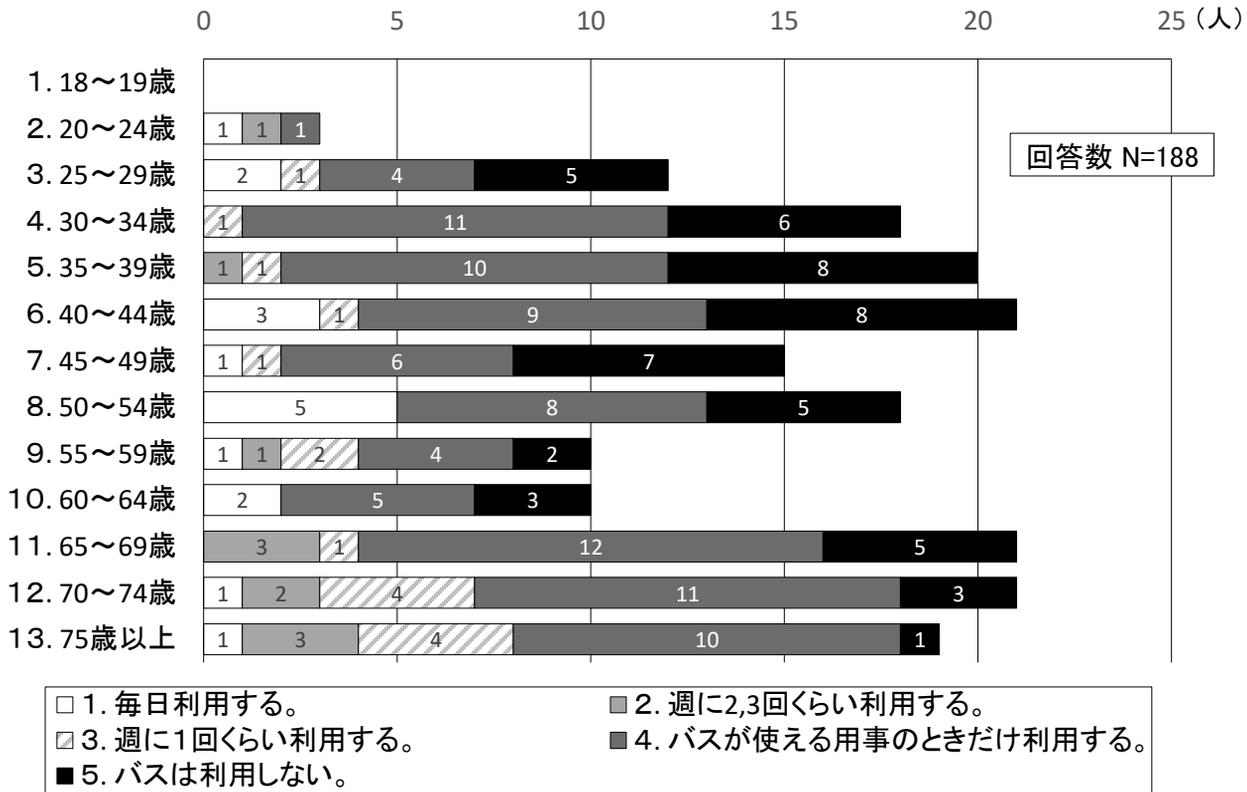
⑧ 車の利用状況と免許の有無



【バスサービスについて】

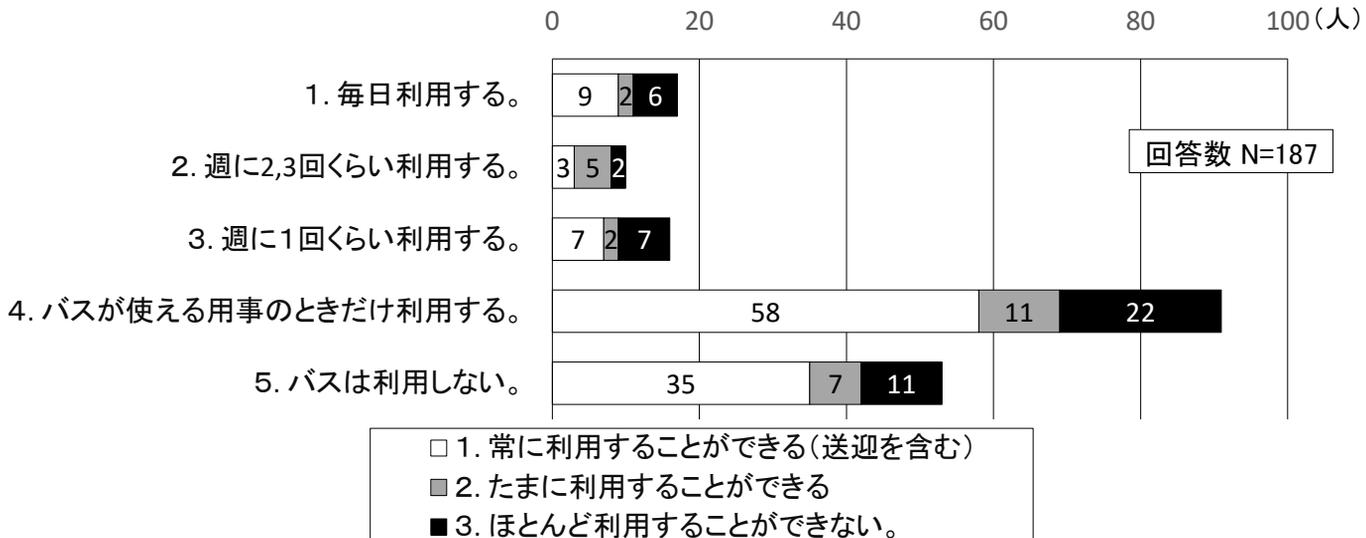
現在のバスサービスが皆様にとってどの程度満足できるものとなっているかをお伺いする質問に回答していただきました。

① 年齢層別のバスの利用頻度



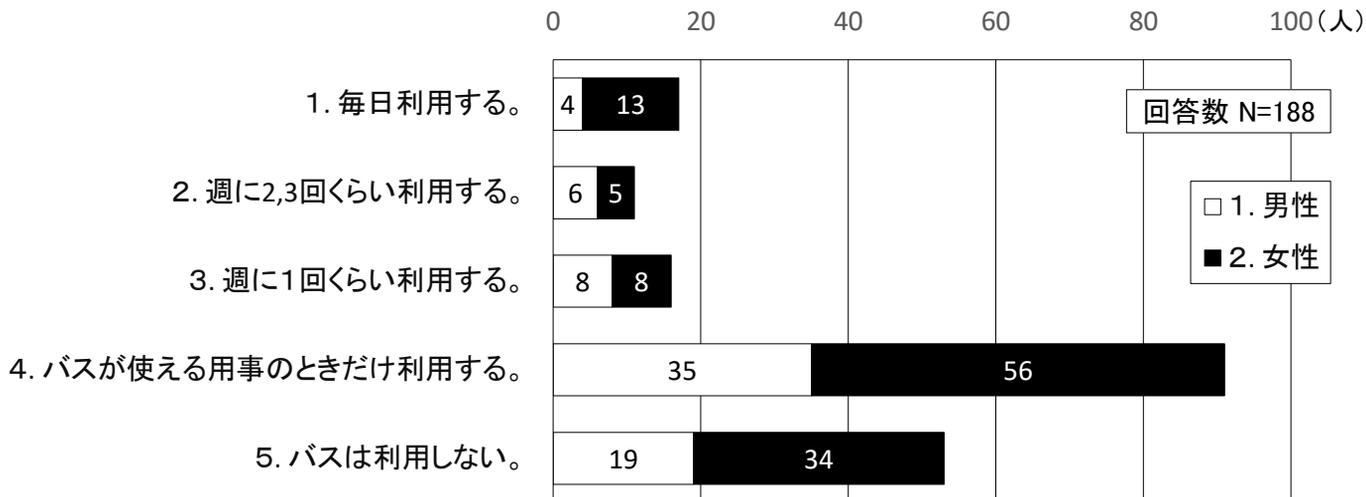
○70歳以上の方はバスの利用頻度が高く、週に1回以上バスを利用する方の割合が4割弱となっています(40人中15人)。

② バスの利用頻度と車の利用状況



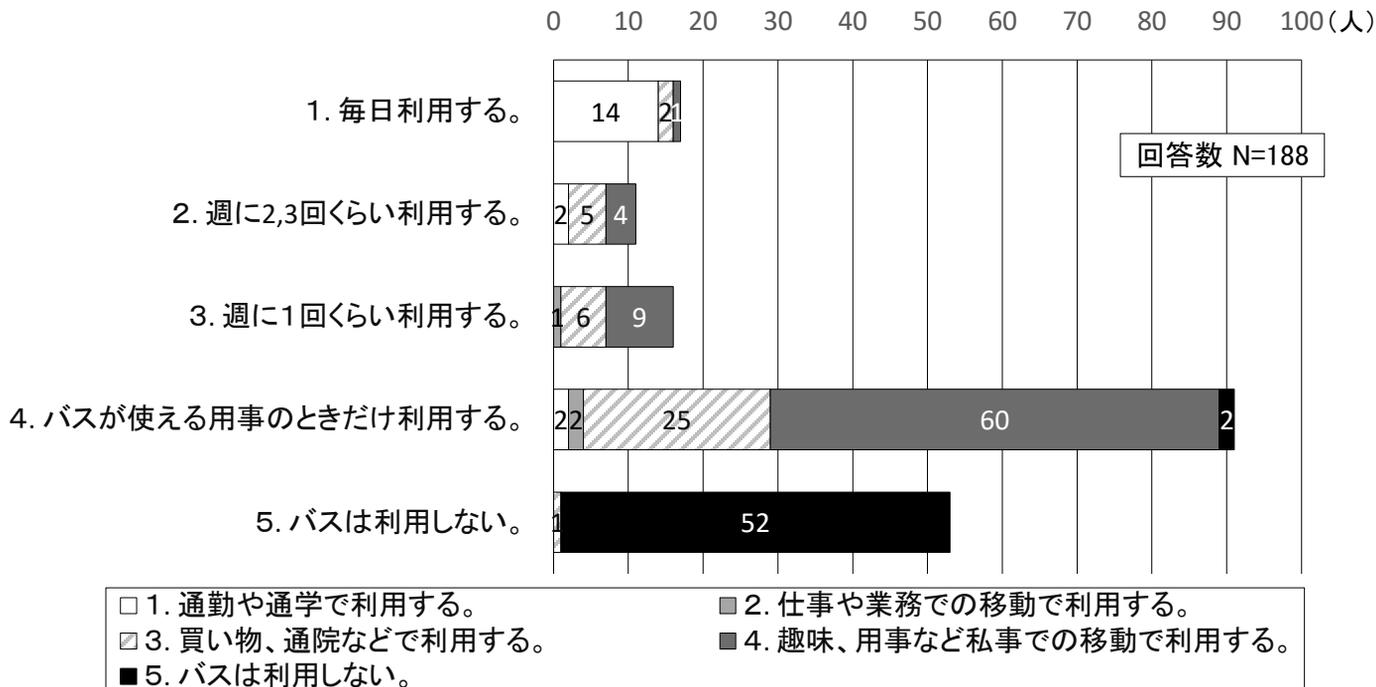
○バスを利用しない方の6割以上が常に車を利用することができる(送迎を含む)環境にいることがわかります。(53人中35人)

③ バスの利用頻度と性別



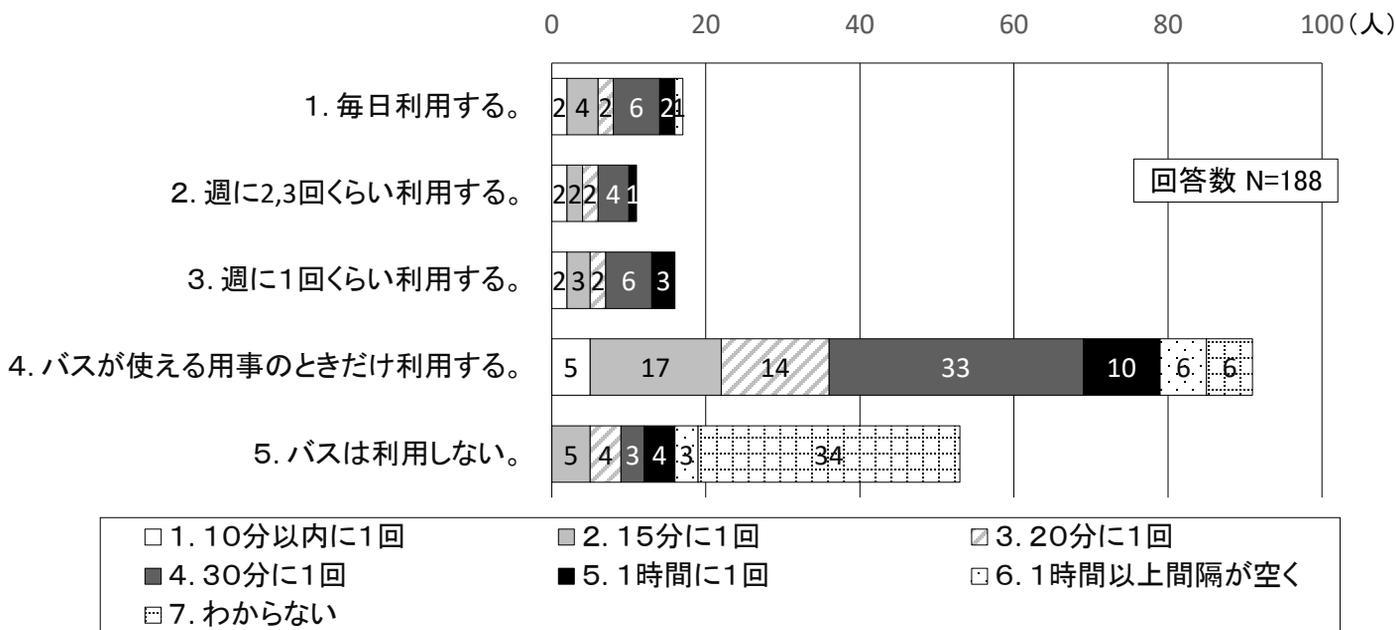
○男性も女性も「バスが使える用事の時だけ利用する」との回答が最も多く、全体の約半数となっています。

④ バスの利用頻度と利用目的



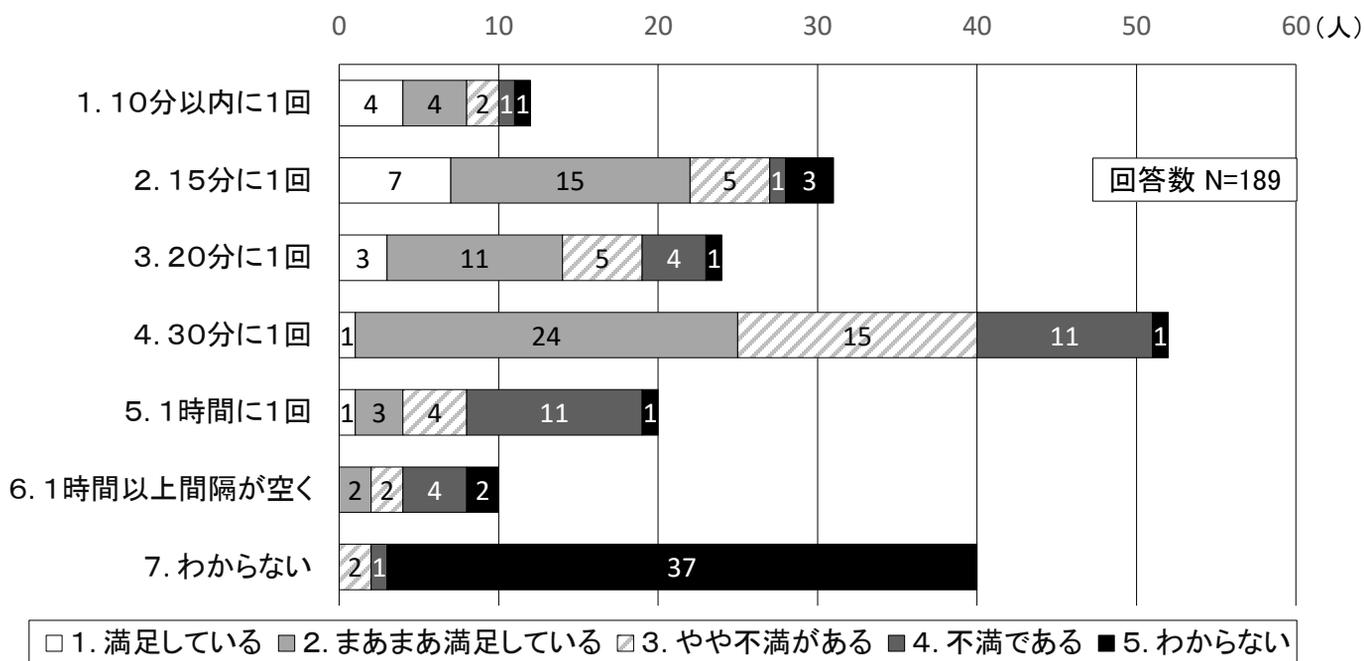
○バスを毎日利用する方は、通勤や通学目的で利用する場合は最も多いことがわかります。
○バスが使える用事の時だけ利用する方は、趣味や用事など私事で移動で利用する場合は最も多く、買い物・通院などでの利用と合わせると、全体の約4割半ばとなっています。(188人中85人)

⑤ バスの利用頻度と現在のバス運行頻度



○「バスが使える用事の時だけ利用する」及び「バスは利用しない」と回答した方の中には、バスの運行頻度についてわからないと回答した方が多いことから、バスの利用頻度が低いほど運行頻度を知らないことがわかります。

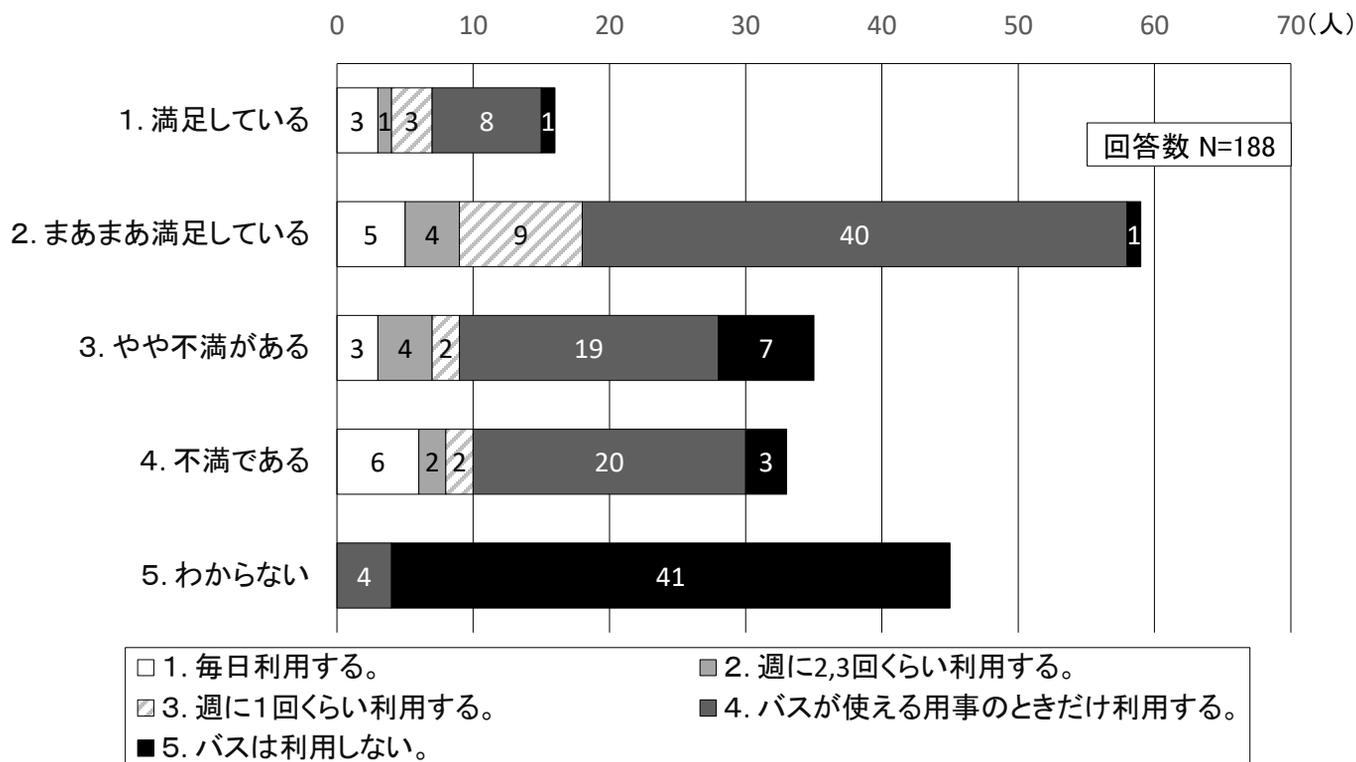
⑥ 現在のバスの運行頻度と満足度



○運行頻度が10分以内に1回及び15分に1回と回答した6割以上の方が満足しているとの結果となっています。

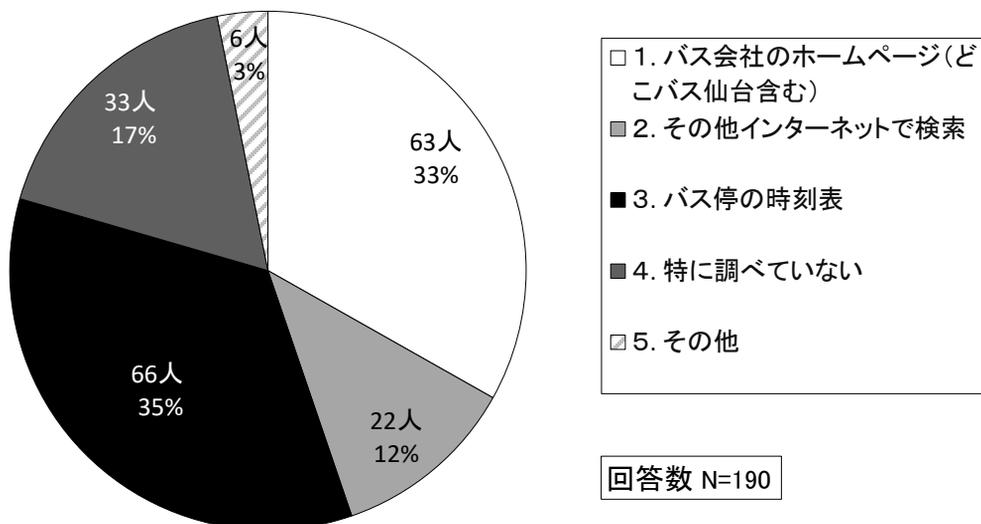
○バスの運行頻度が30分に1回より少ないと、不満を感じている方の割合が満足している方の割合を上回ることがわかります。

⑦ バスの運行頻度の満足度と利用頻度



○バスの運行頻度に「満足している」と回答している4割強の方は、週1回以上バスを利用していることがわかります。(16人中7人)

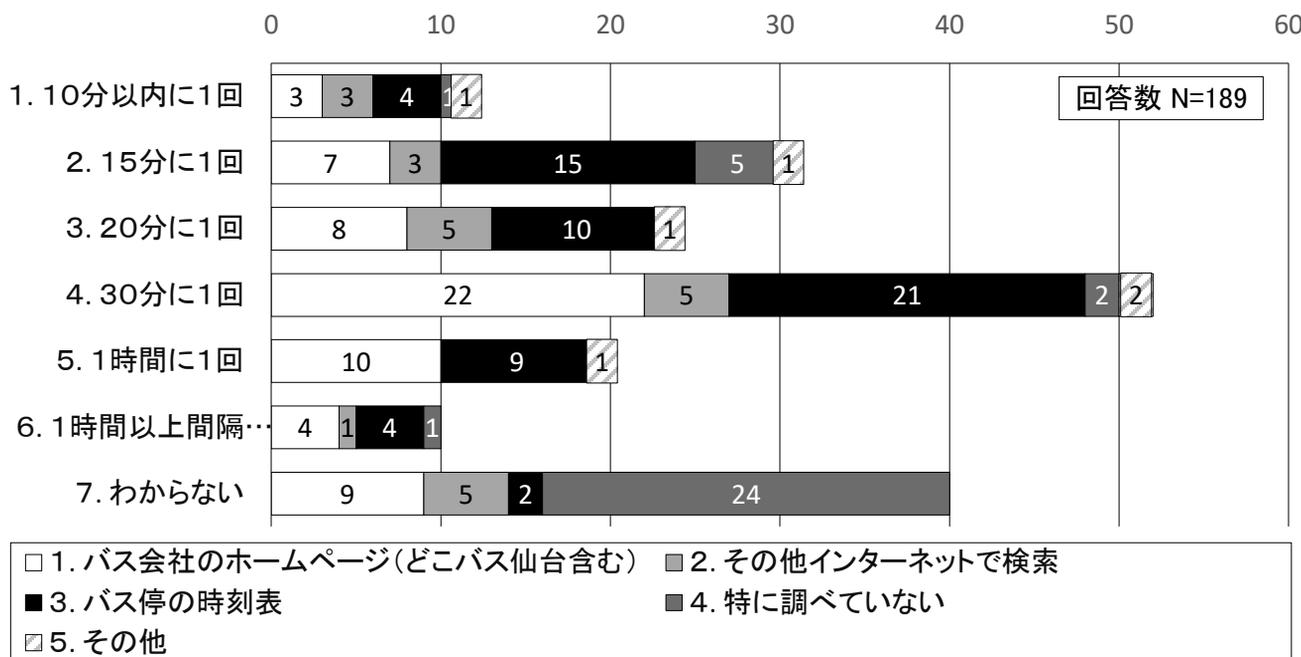
⑧ バスの時刻の調べ方



○約半数の方がインターネットにて時刻を調べています。

⑨ バスの時刻の調べ方と現在の運行頻度

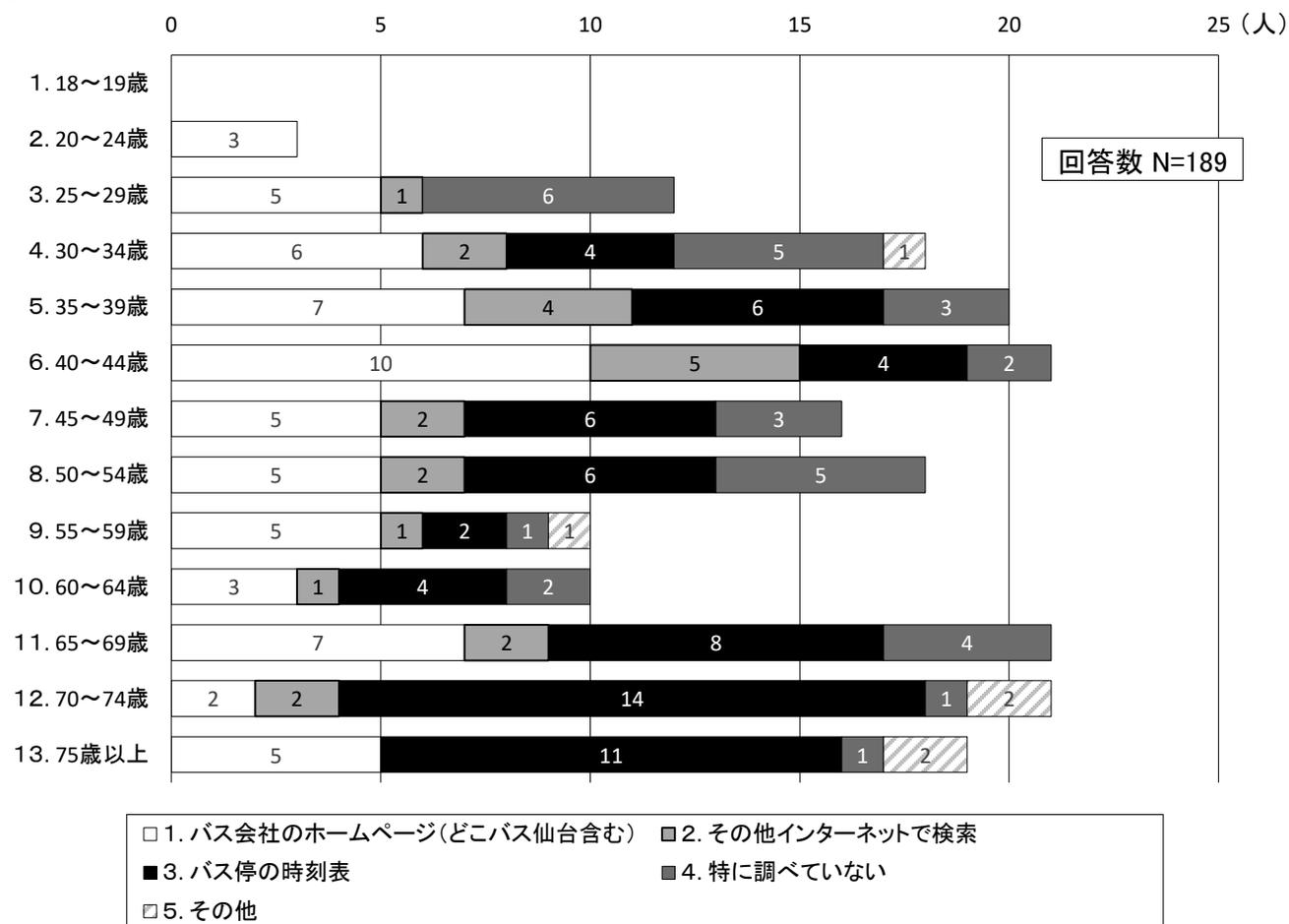
(人)



○バス運行頻度が20分に1回より少ないとインターネットで時刻を調べる方の割合が多い傾向となっていることがわかります。

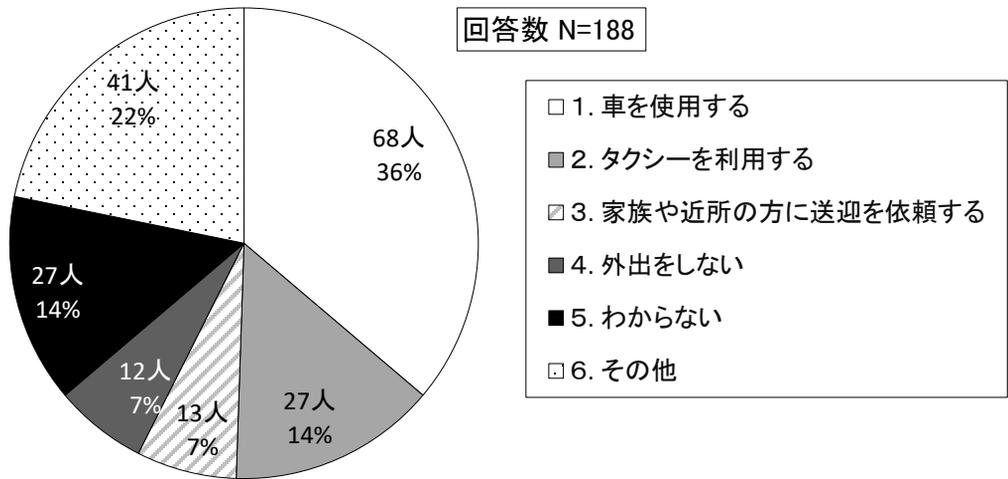
⑩ バスの時刻の調べ方と年齢

(人)

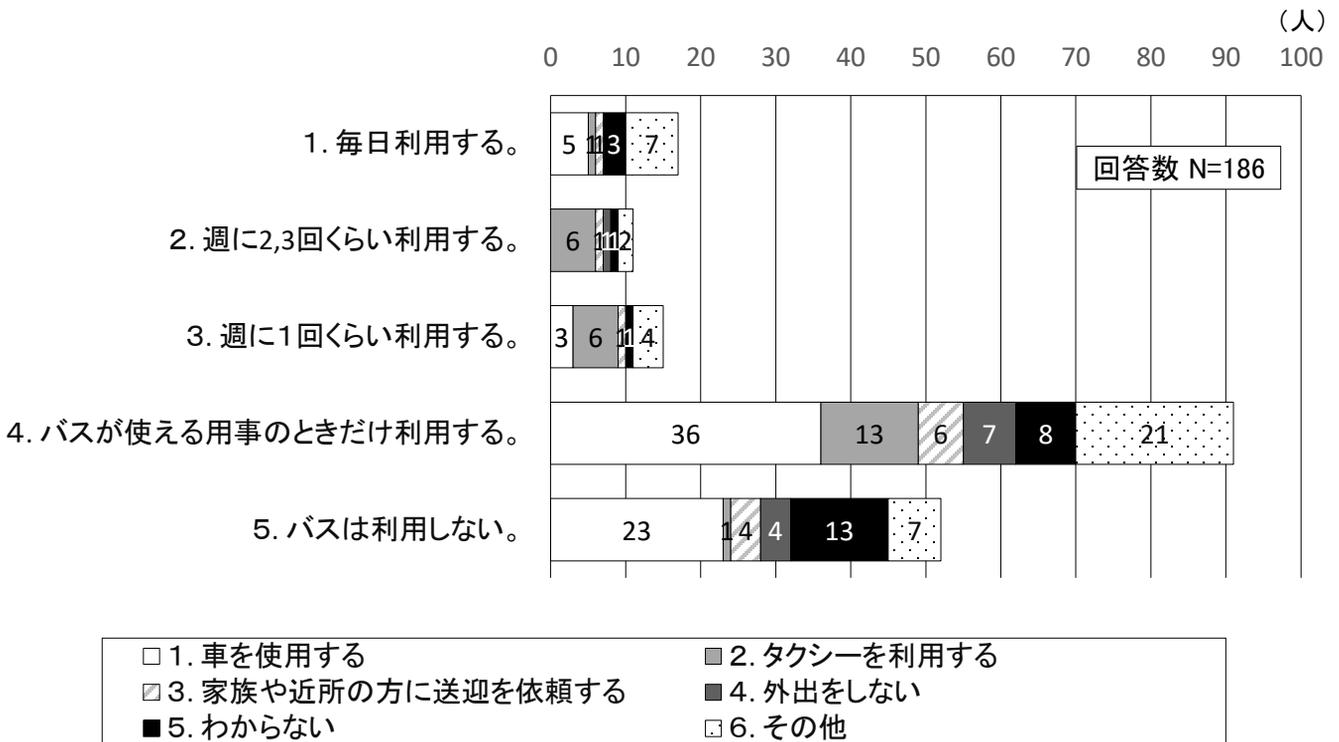


○70歳以上の多くの方はバス停にて時刻を調べています。

⑪ バス廃止時の移動手段



⑫ バス廃止時の移動手段と現在のバスの利用頻度

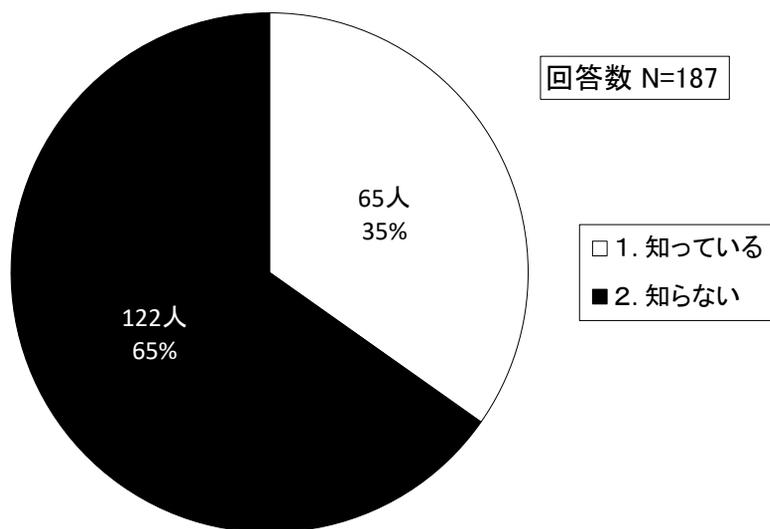


○バスが使える用事のみだけ利用する方や、バスを利用しない方のように、バスの利用頻度が少ない方ほど、バスが廃止になった場合の代替手段として「車を使用する」と回答した方の割合が多いことがわかります。

【公共交通利用の際における、お得な制度やサービスについて】

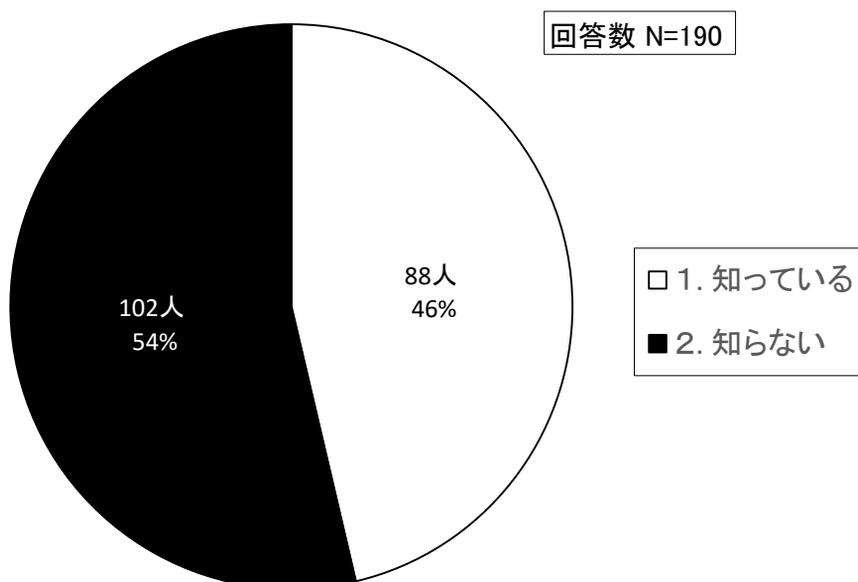
公共交通利用の際における、お得な制度やサービス及びICカード乗車券の認知度や利用状況に関する質問に回答していただきました。

① 「地下鉄210円均一運賃」の認知度



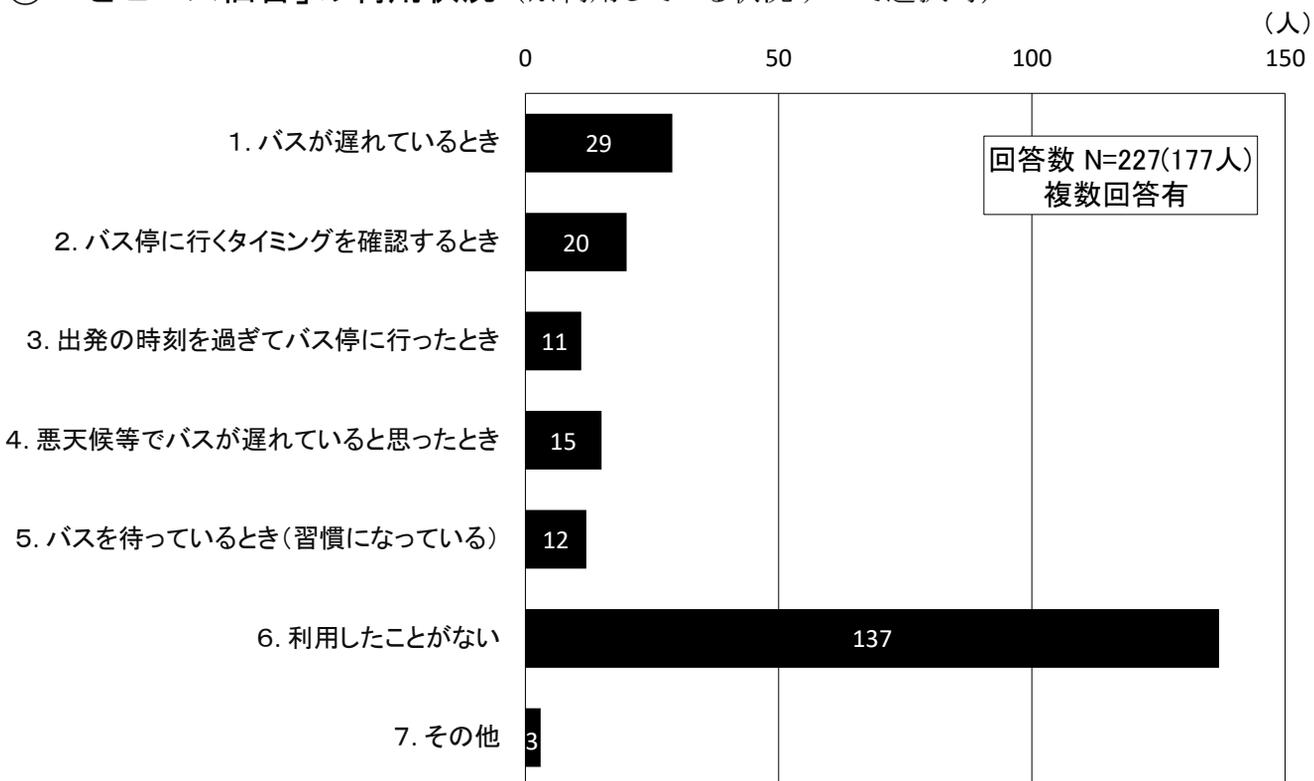
○本制度の認知度は3割半ばであることがわかります。

② 「どこバス仙台」の認知度



○本制度の認知度はおおよそ半分であることがわかります。

③ 「どこバス仙台」の利用状況（※利用している状況すべて選択可）

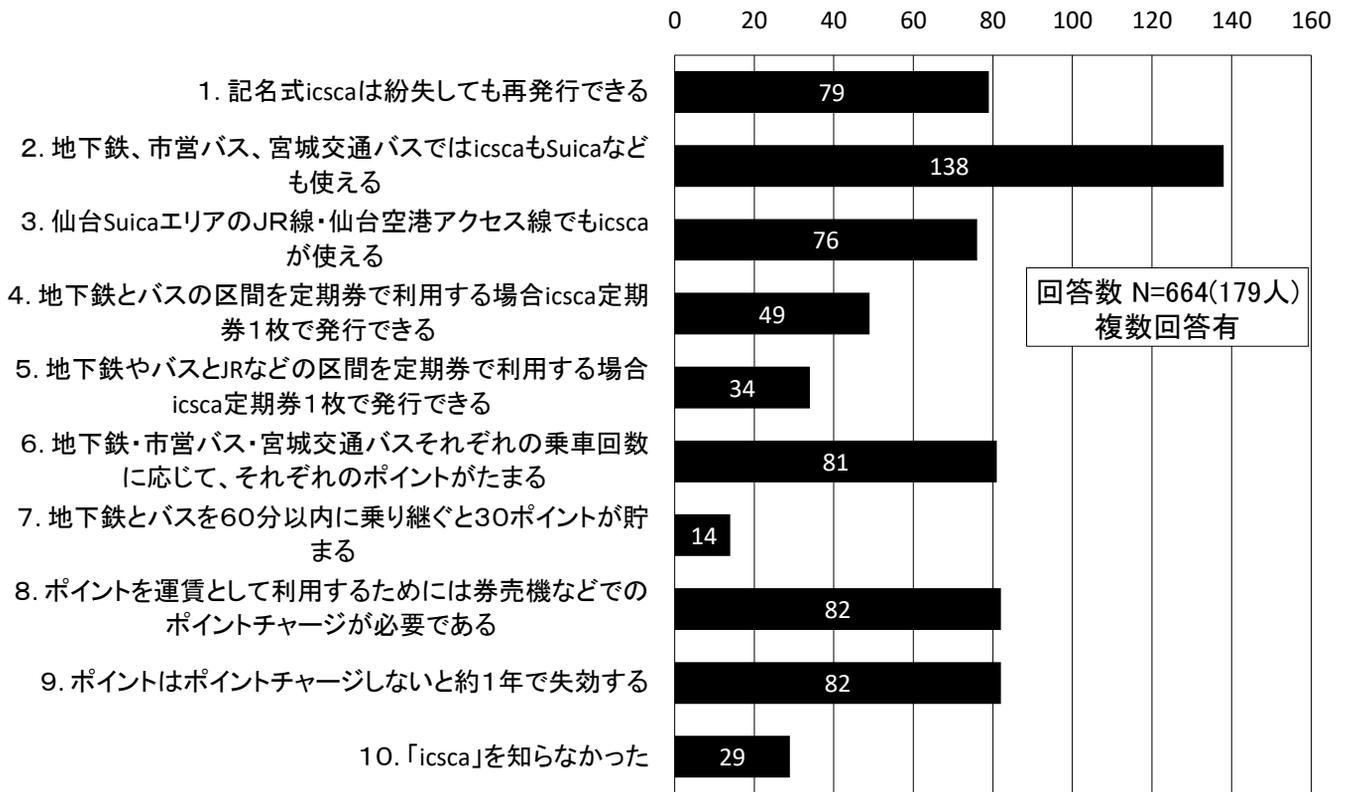


○どこバス仙台を利用したことがない人が多いことがわかります。

○どこバス仙台を利用したことがある方はバスが遅れているときに最も多く利用しています。

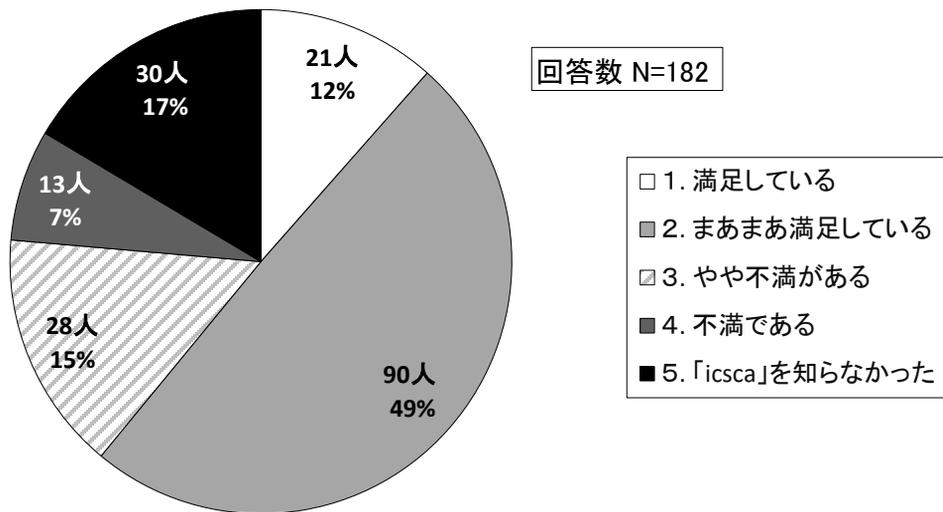
④ ICカード乗車券 icsca の各種サービスや制度等についての認知度

(人)



○「地下鉄、市営バス、宮城交通バスではicscaもSuicaなども使える」については8割弱の方(179人中138人)が知っており、最も多く認知されていましたが、「仙台SuicaエリアのJR線・仙台空港アクセス線でもicscaが使える」を知っていると回答した方は半数以下となっており、icscaをJRや仙台空港アクセス線では利用できないと思っている人が多いことがわかります。

⑤ ICカード乗車券 icsca に対する満足度



○ICカード乗車券icscaを認知している7割強の方(152人中111人)が、ほぼ満足しています。

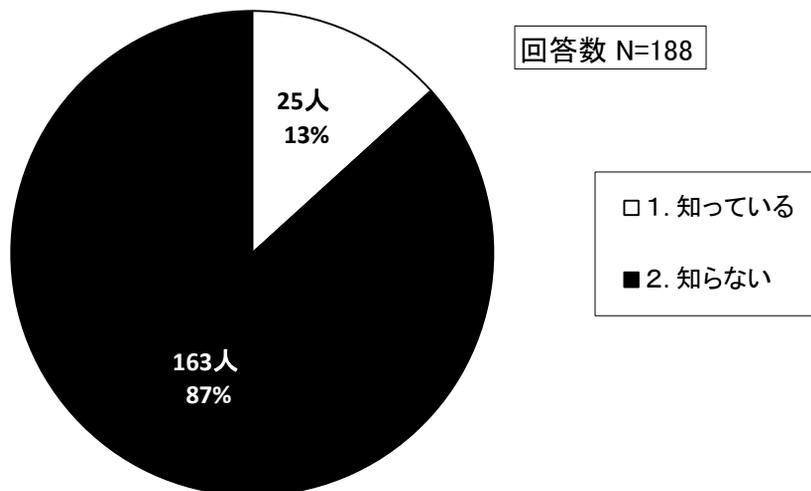
まとめ

○地下鉄210円均一運賃やどこバス仙台は認知度が低いことから、今後更に情報発信が必要であることがわかりました。

【みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度について】

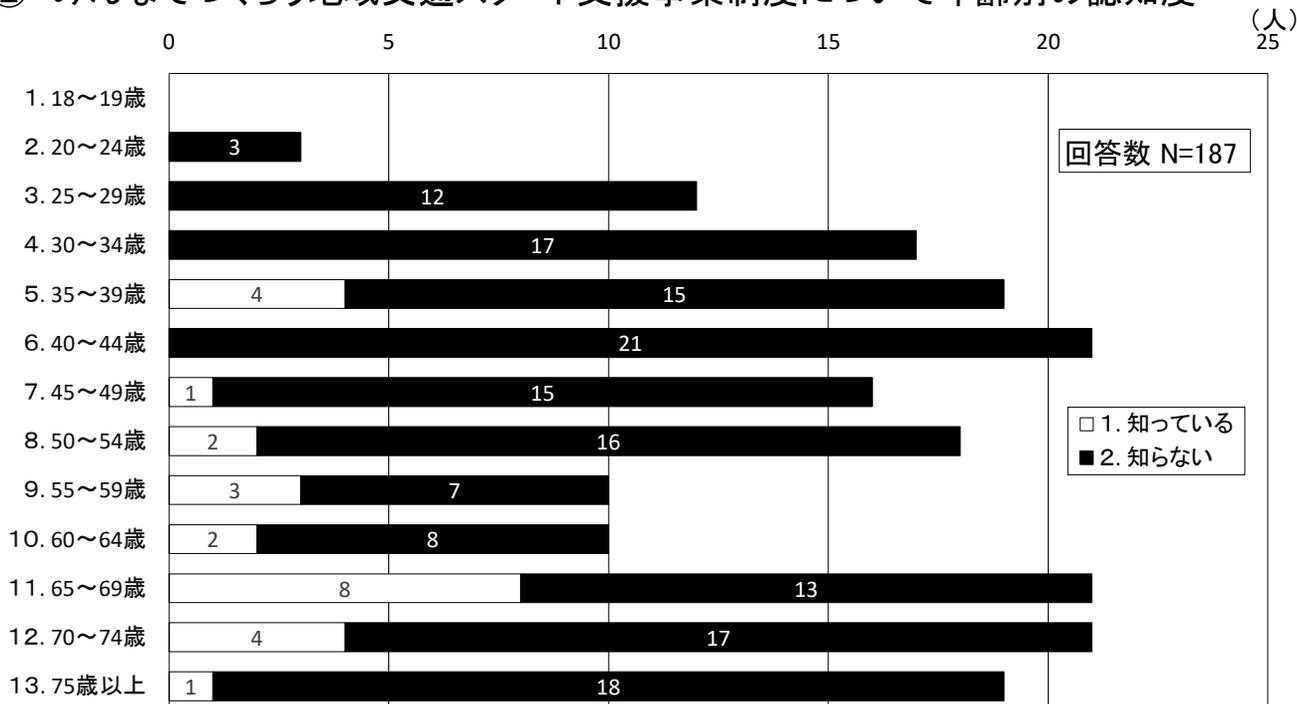
みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度の認知度に関する質問に回答していただきました。

① みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度についての認知度



○「みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度」を9割弱の方が知らないと回答しています。

② みんなでつくろう地域交通スタート支援事業制度について年齢別の認知度



まとめ

○認知度が1割強という結果から、当制度が令和2年度から移行する「みんなで育てる地域交通乗り乗り事業」について、更なる情報発信が必要であるとわかりました。